

令和6年第12回定例教育委員会

令和6年12月20日（金）午後2時00分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長 委員 委員 委員 委員	黒川 淳 司 須田 壽美江 麓 美 絵 新館 忠 義 兼子 弘 詔	説明員	教育部長 教育部次長 学校教育支援室長 総務課長 総務課主幹 学校教育課長 学校教育課参事 教育支援課長 給食センター長 対雁調理場長 生涯学習課長 生涯学習課主幹 スポーツ課長 郷土資料館長 郷土資料館参事 総務課総務係長	佐藤 学 新山 千穂 堂前 敦克 山崎 浩仁 鎌田 和己 稲田 征明 五十川 範 水口 武洋 三浦 滋克 井上 真行 田中 正修 星野 志美 松井 一志 堀井 修志 兼平 一志 伊藤 麻美	記録員 傍聴者	なし
-----	-----------------------------	-----------------------------------------------	-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------	----

1 報告事項

- (1) 令和6年第4回江別市議会定例会の一般質問について
- (2) 令和5年度江別市学校教育基本計画（第2期）推進状況報告書について
- (3) 令和5年度江別市社会教育総合計画（第9期）推進状況報告書について
- (4) 令和5年度江別市スポーツ推進計画（第6期）推進状況報告書について
- (5) 令和5年度江別市子どもの読書活動推進計画（第3期）推進状況報告書について
- (6) 令和6年度第2回学校一斉公開アンケート集計結果について
- (7) 令和7年江別市はたちのつどいの開催について
- (8) 令和6年度小中学校国内交流研修事業について
- (9) 教育支援課所管事案について

2 審議事項

- (1) 令和6年議案第45号
令和7年度江別市一般会計教育予算要求案について
- (2) 令和6年議案第46号
令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について
- (3) 令和6年議案第47号
令和6年度江別市一般会計補正予算について

3 その他

- 次回教育委員会予定案件について
- 令和7年第1回定例教育委員会の日程について

会 議 録

黒川教育長	<p>(開 会)</p> <p>ただいまから、令和6年第12回定例教育委員会を開会いたします。</p> <p>本日の議事日程は配付のとおりであります。開会前に確認いたしましたとおり、1の報告事項(9)教育支援課所管事案、2の審議事項(3)令和6年議案第47号 令和6年度江別市一般会計補正予算については、秘密会で取り扱うこととし、議事の冒頭に行くことといたします。</p> <p>会議に先立ち、本日の会議録署名人を新館委員にお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p><秘密会につき会議録省略></p>
黒川教育長	<p>委員会を再開します。議事に入ります。</p> <p>1の報告事項(1)令和6年第4回江別市議会定例会の一般質問についての報告を求めます。</p>
佐藤教育部長	<p>佐藤教育部長お願いします。</p> <p>令和6年第4回江別市議会定例会の一般質問についてご報告いたします。</p> <p>資料1ページをご覧ください。</p> <p>教育委員会関係分は、12月5日及び9日に計3名の議員から一般質問がありました。</p> <p>資料2ページをお開き願います。</p> <p>はじめに、芳賀議員から「江別の歴史と文化を知り後世へ継承することについて」、2点質問がありました。</p> <p>1点目の「市内遺跡や出土品の管理と郷土資料館の有効活用について」への答弁では、郷土資料館では、市民の生涯学習の振興や学術、文化の発展を目的として、歴史、自然などに関する資料を収集し、先史時代の土器や石器等の考古資料など、テーマごとに分けて常設展示している。</p> <p>そのほか、文化財整理室に収蔵するものを含め、資料については、テーマに特化した企画展で活用するなど、多くの市民に見てもらえるよう努めてきており、令和5年度には、年間4,000人を超える方々に利用いただいている。</p> <p>郷土資料館や史跡を訪れる方に、江別の歴史や文化をよりわかりやすく、魅力的に伝えていく必要があると認識しており、常設展の説明表示の一部リニューアル、江別古墳群の説明板更新や草刈り実施時期の見直しなど、環境整備に努めている。</p> <p>今後は、映像などを活用した展示内容充実について検討するとともに、郷土資料館を多くの方に活用いただけるよう、観光協会など関係団体の協力を得ながら、対外的なPRについて研究していく、と答えています。</p> <p>2点目の「子供たちの自己肯定感を育むことについて」への答弁では、市内小学校では、郷土資料館の施設見学のほか、出前授業等を通じて、江別の歴史を学ぶ機会の確保に努めているほか、郷土資料館では、学芸員の仕事を体験できる「子ども学芸員カレッジ」など、子ども達が歴史を体験する機会の提供に努めている。</p> <p>こうした取り組みにより、年間2,000人を超える児童が郷土資料館で学んでおり、参加者へのアンケートでは、地元の歴史に興味をもった子どもたちの様子が伝わる感想も寄せられている。</p> <p>地元の歴史を学ぶことは、ふるさと愛の醸成につながるものと考えており、引き続き、子ども達が江別の歴史をわかりやすく学べる機会の提供に努めていく、と答えています。</p> <p>これに対し、芳賀議員から、1点目の「郷土資料館の有効活用について」、再質問があり、「郷土資料館の展示方法を要望等に応じて、整理・改善すること」への答弁では、利用者アンケートの意見を参考に、照明など効果的な展示内容の改善について検討していくこと、再々質問の「児童の協力を得て、展示物の表示方法を見直すこと」への答弁では、施設見学に来た子どもたちなどの意見を参考に、子ども達にも親しみやすい表示になるよう検討していくこと、4回目の「観光特使に協力いただくこと」への答弁では、これまでも、「えべつまちけんキッズ応援隊」や「うるうる亭」などに協力いただいております。引き続き、観光特使の協力をいただきながら、郷土資料館のPRに努めていくこと、最後に5回目の「江別古墳群がどのような点で見学しやすくなったのか」への答弁では、江別古墳群は、史跡</p>

を巡るバスツアーや北海道縄文のまち連絡会が実施するスタンプラリーなど、観光資源として活用されており、駐車場の変更や説明板更新、職員パトロールによる草刈りの適正実施など、見学しやすい環境の整備に努めている、とそれぞれ答えています。

さらに、2点目の「子ども達の自己肯定感を育むことについて」、再質問があり、「郷土資料館を利用した児童の学年別の内訳」への答弁では、令和5年度の小学1年から6年までの学年別の利用児童数を、再々質問の「小学3年、4年以外への歴史文化的な学びについて」への答弁では、小学校においては、学習指導要領に基づき社会科等で地域の歴史や文化を学年に応じて学んでいる。学年を問わず、多くの児童に郷土資料館で学んでもらえるよう、施設見学などの活用を校長会で案内しているほか、入館無料券付きの広報誌の配布や企画展ポスターを各学校で掲示していること、4回目の「郷土資料館の展示方法の評価について」への答弁では、常設展や企画展において、子どもの興味を引く工夫をおこなってきている。郷土資料館が子どもたちの興味・関心を高められる施設となるよう、映像などを活用した展示方法の充実について検討していくこと、最後に5回目の、「子ども達が江別の歴史を学ぶことのねらいや目的について」への答弁では、江別の歴史を学ぶことは、ふるさと愛の醸成に加え、子ども達が好奇心や探求心を持ち、自ら調べる力やそれを整理し、まとめる力を育むことにもつながるものと考えている、とそれぞれ答えています。

次に、吉田議員から、「江別市の学校給食について」、3点質問がありました。

1点目の「江別市の学校給食の在り方検討委員会の経過について」への答弁では、給食センターが直面する給食施設の老朽化と調理員不足の課題を踏まえ、安全で安心な給食を提供するための体制について検討するため、本年1月に在り方検討委員会を設置し、6月の第1回検討委員会では、2つの調理場の施設と運営体制の現状を説明している。

その後実施した、他自治体への視察、生産者からの情報収集、サウンディング市場調査を踏まえ、8月の第2回検討委員会で、給食提供体制として、自校親子方式、統合センター新築など、5つの案と、運営方式として直営調理方式、調理委託方式の案を事務局から提示している。

9月に実施した、児童生徒、保護者、教職員を対象としたアンケート結果を踏まえ、11月の第3回検討委員会において、それぞれの案を比較検討した結果、統合センター新築、対雁調理場新築、中学校への民間事業者デリバリー方式導入の3案に絞り、協議を継続することとなっている。

これまでの検討委員会では、施設の更新や民間事業者を活用した提供方法を中心に議論してきており、今後は、調理方式など運営体制に関する資料も提供し、幅広く議論いただきたいと考えている、と答えています。

2点目の「江別市学校給食アンケート調査の結果を踏まえた検討について」の質問への答弁では、児童生徒の学校給食に対する思いや、保護者、教職員の満足度、提供方法に対する意見を把握するため9月にアンケートを実施した。

アンケート結果では、児童生徒、保護者、教職員ともに満足している割合が高いことや、保護者からは、栄養バランスが取れていることや衛生管理の徹底など、安全な給食であることに、多くの回答を得たところである。

教育委員会としては、満足度の高い給食を提供できていると捉えており、現状の給食の質や安全性が損なわれてはならないものと考えている。

今回のアンケート結果を十分に踏まえ議論がなされるよう、適切な情報提供に努める、と答えています。

3点目の「現時点での考え方について」の質問への答弁では、学校給食法では、学校給食が心身の健全な発達に資するものであり、食に関する正しい理解などを養う上で重要な役割をはたすものとされ、かかる費用のうち、職員の人件費、施設設備の修繕費は、学校設置者が負担するものとされている。

当市でも、学校給食を開始して以来、健康の保持増進を図るだけでなく、食事についての理解を深め、望ましい食習慣を養うなど、学校給食が教育の一環であると考えており、これまで同様、施設設置者として責任を持ち、安全で安心な学校給食を安定的に提供していくことが重要である、と答えています。

これに対し、吉田議員から、3点目の「現時点での考え方について」再質問があり、「施設の老朽化と調理員不足の問題について」への答弁では、施設の更新と調理方式などの運営体制の検討には、それぞれに異なる課題があると認識しているが、施設の数が、調理員

<p>黒川教育長</p> <p>稲田学校教育課長</p>	<p>などの人員体制に影響するなど、関連性があることから、並行して、検討する必要があると考えている、と答えています。</p> <p>次に、高柳議員から、「通学路について」、「市内公立小・中学校の休校措置について」2件質問がありました。</p> <p>1件目の「小中学校周辺の白線が消えかけた横断歩道について」への答弁では、横断歩道や一時停止線などの道路標示は公安委員会が所管し、摩耗率の高い箇所から更新がなされていると承知している。</p> <p>教育委員会では、江別警察署のほか、国や北海道、市の関係部局で構成する江別市通学路安全推進連絡会議を開催し、毎年、学校などが危険性が高いと判断した箇所の合同点検を行い、情報共有を図っている。</p> <p>通学路における横断歩道の視認性を高めることは、交通事故のリスクを低下させ、安全性の向上につながることから、今後も連絡会議において整備が必要な箇所の情報共有を行うとともに、視認性が低い横断歩道を確認した際には、江別警察署に要請するなど、通学路の安全対策に努めていく、と答えています。</p> <p>2件目の「学校ごとの休校状況をホームページや江別市LINE公式アカウントで周知することについて」への答弁では、市の雪対策庁内会議では、令和3年度の大雪時に生じた諸課題について、検討した結果を令和4年11月に報告書としてまとめており、除排雪体制や情報発信などの強化に向け、取組を進めてきている。</p> <p>情報発信に関しては、ホームページでの公表を基本とし、防災関連情報については、メール配信やLINEを用いたプッシュ式の周知を行う方針となっている。</p> <p>これを受け、休校状況について、学校名とその理由のホームページでの周知を令和4年度から始めるとともに、全市的な災害等により休校が生じた場合には、LINE等で情報発信することとしている。</p> <p>教育委員会としては、令和3年度の大雪に関する検証結果を踏まえ、適切な情報の発信、提供に努めていく、と答えています。</p> <p>次に、「休校の判断に必要となる情報の提供手段について」への答弁では、情報提供手法の検討については、小中学校に聞き取り調査を実施したところ、学校では通学路の歩道除雪の状況把握が難しく、休校判断に苦慮しているとの声が多く寄せられたことから、雪対策庁内会議に報告した。これを受け、令和5年度に、歩道除雪車両にGPSを搭載し、運航データ収集などの検証を行い、今年度は全小中学校に対して、除雪進捗状況のデータを提供し、学校側の意見を集約する試行調査を開始する予定となっている。</p> <p>休校判断の共通化にかかる研究については、近隣市に調査したところ、学校長による判断を共通化する基準を、教育委員会が設けている事例がないことや、休校は、学校個別の状況などを踏まえ、学校長が判断するものとされていることから、校長会と相談のうえ、休校判断を共通化することは、当面見送ることとしている。</p> <p>学校長の休校判断が適切に行われることは重要であることから、情報の提供手法などの検討を続けるとともに、児童生徒の登校時の安全確保に努めていく、と答えています。</p> <p>以上です。</p> <p>ただいま報告のありました、令和6年第4回江別市議会定例会の一般質問について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(2)令和5年度江別市学校教育基本計画(第2期)推進状況報告書についての報告を求めます。</p> <p>稲田学校教育課長お願いします。</p> <p>報告事項(2)令和5年度江別市学校教育基本計画(第2期)推進状況報告書について、ご説明いたします。</p> <p>第2期江別市学校教育基本計画は、計画期間を令和元年度から令和5年度までの5年間とし、学校教育における目標や施策の方向性を示すために策定いたしました。</p> <p>本計画の推進にあたっては、計画の実効性を確保し、より効果的に施策を推進するために、PDCAサイクルの考え方にに基づき、点検・評価を行い、着実に計画を進めることとしておりますことから、最終年度となりました令和5年度における「成果指標」の結果と</p>
------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>次年度の推進の方向性について、ご報告いたします。</p> <p>資料1 ページをご覧ください。</p> <p>報告する内容につきましては、各ページの太枠で囲んだ部分、「前年度の取組内容、成果指標の動向・分析及び次年度の推進の方向性」でございます。</p> <p>はじめに、「基本目標1：確かな学力を育成する教育の推進」についてであります。成果指標1-①「授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた児童生徒の割合」及び1-②「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」につきましては、前年度の数値を上回りました。</p> <p>また、現状値として記載しております平成29年度の数値との比較では、1-①及び1-③「通常学級に在籍し、学習や行動面で困難を示す児童生徒の個別の教育支援計画を作成している学校の割合」は、目標を達成しております。</p> <p>こうした結果から、きめ細かな学習支援やキャリア教育により、学ぶことに興味を持つなど、主体的な学びの醸成が図られていると考えており、次期計画として令和6年度からスタートしております第3期計画におきましても、サポート教員などの人的支援を継続するとともに、ICTを効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることで、確かな学力の定着を図る教育を推進してまいります。</p> <p>次に、2ページをご覧ください。</p> <p>「基本目標2：豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進」につきましては、成果指標2-②「運動が好きな児童生徒の割合」及び2-③「朝食を食べて学校に通う児童生徒の割合」は、目標をわずかに下回りましたが、成果指標2-①「自分には、良いところがあると思う児童生徒の割合」は、前年度を上回り目標を達成しました。</p> <p>これは、小中一貫教育等を通じた自己肯定感が高まる体験型の取組によるものと考えており、次期計画においても、道徳教育や体験活動の充実を図るとともに、運動に親しむ環境づくり、生活リズムの向上、食育の取組等により、心身の健康保持・増進を図ってまいります。</p> <p>次に、「基本目標3：良好な教育環境の整備」につきましては、3ページの成果指標3-①「教育用タブレット型パソコンを整備している学校の割合」は、高い水準を維持しており、3-②「学校図書館図書標準を達成している学校の割合」は、前年度を上回り、目標を達成しました。</p> <p>次期計画におきましても、学校のICT環境整備や、学校図書館の蔵書整備を継続することに加え、就学援助の実施や相談支援体制の充実を図ることで、良好な教育環境の整備を進めてまいります。</p> <p>次に、「基本目標4：地域とともにある学校づくりの推進」につきましては、成果指標4-①「学校、家庭、地域が連携していると思う市民割合」は、前年度を上回りましたが、現状値を下回り、目標をわずかに下回りました。</p> <p>次期計画におきましても、これまでの取組を継続するとともに、学校・家庭・地域が一体となって、義務教育9年間を通して目指す子ども像の実現に向け小中一貫教育を推進してまいります。</p> <p>以上が報告書の概要であります。</p> <p>なお、本日、報告した内容につきましては、市のホームページにて公表する予定であります。</p> <p>私からの説明は、以上です。</p> <p>ただいま報告のありました、令和5年度江別市学校教育基本計画（第2期）推進状況報告書について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>（質疑なし）</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>（一同了承）</p> <p>次に、報告事項（3）令和5年度江別市社会教育総合計画（第9期）推進状況報告書についての報告を求めます。</p> <p>田中生涯学習課長をお願いします。</p> <p>引き続き、私から、報告事項（3）令和5年度江別市社会教育総合計画（第9期）推進状況報告書について、ご説明いたします。</p> <p>第9期江別市社会教育総合計画は、計画期間を令和元年度から令和5年度までの5年間</p>
<p>黒川教育長</p> <p>田中生涯学習課長</p>	

とし、社会教育行政の指針とするため策定しました。

本計画の推進に当たっては、各施策の実施状況等について、点検・評価と公表を行うこととしておりますので、令和5年度における「成果指標」の結果と次年度の推進の方向性について、ご報告いたします。

資料1頁をご覧ください。

「基本目標Ⅰ 地域全体で子どもを守り育てる体制づくり」であります、「1家庭の教育力の向上」の、成果指標1-①公民館の「子育て支援事業」の参加者数から、資料2頁をご覧くださいまして、「4子どもの安全・安心な環境づくり」の、成果指標4-①子育て環境が充実していると思う保護者の割合までの6つの指標は、いずれも令和4年度と比べ増加しました。要因としましては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類へ移行したことにより、日常生活が元に戻ったことによると考えられます。

現状値（H29年度）と比較しますと、5つの成果指標については目標を上回ることは出来ませんでした。コロナ禍で停滞していた各種活動が再開し、回復傾向が見られる結果となりました。

次に、次年度の推進の方向性としてしましては、下の枠内5点目のとおり、第10期の計画におきましても、子どもたちを健やかに育てていくため、様々な体験・交流活動の機会を充実させるとともに、学校・家庭・地域が連携し、地域全体で安全・安心に子育てできる環境づくりを進めていきます。

次に資料3頁をご覧ください。

「基本目標Ⅱ 学びを支える生涯学習の推進」であります、「1生涯にわたって学ぶことのできる環境づくり」の、成果指標1-①生涯学習の機会が充実していると思う市民割合から、「3協働・連携による生涯学習の推進」の、成果指標3-①学習した成果を、まちづくりやボランティア活動に活かしている市民割合までの4つの成果指標は、いずれも令和4年度と比べ増加しました。

また、現状値（H29年度）との比較においても、成果指標3-①は若干減少しておりますが、それ以外の項目については増加しており、計画期間の5年間で概ね目標を達成しております。

次に、次年度の推進の方向性としてしましては、下の枠内5点目のとおり、市民ニーズに応じた学習機会の提供や社会教育施設の計画的な整備を進めるとともに、市民が学んだ成果を地域社会に還元されるよう、必要な情報の提供に努めます。

次に資料4頁をご覧ください。

「基本目標Ⅲ 地域で育まれた多様な文化の再発見と創造」であります、令和4年度と比較し、「1文化・芸術活動の促進」の、成果指標1-①文化・芸術活動に参加している市民割合と、「3文化遺産の保存と活用」の、成果指標3-①文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合は、わずかに減少し、成果指標2-①過去1年間に文化施設を利用した市民割合と、成果指標3-②郷土文化・歴史を学ぶ事業の開催数は、増加となりました。

現状値（H29年度）との比較では、2つの成果指標がわずかに減少となり、目標達成とはなりませんでしたが、第10期の計画におきましても同様の成果指標としていることから、文化財や歴史遺産をより身近な市民共有の財産として知っていただくため、効果的な情報発信を継続して行っていく必要があります。

次に、次年度の推進の方向性としてしましては、下の枠内6点目のとおり、郷土の歴史を後世に継承していくため、引き続き、歴史文化資源の保存、利活用を推進し、郷土資料館の展示の充実や、市民への郷土史学習の機会を提供してまいります。

本日、報告した内容につきましては、市のホームページにおいて公表いたします。

以上です。

ただいま報告のありました、令和5年度江別市社会教育総合計画（第9期）推進状況報告書について、質問等がございましたらお受けします。

（質疑なし）

それでは、本報告について終了してよろしいですか。

（一同了承）

次に、報告事項（4）令和5年度江別市スポーツ推進計画（第6期）推進状況報告書についての報告を求めます。

黒川教育長

松井スポーツ課長	<p>松井スポーツ課長お願いします。</p> <p>引き続き、私から、報告事項（４）令和５年度江別市スポーツ推進計画（第６期）推進状況報告書について、ご説明いたします。</p> <p>第６期江別市スポーツ推進計画は、計画期間を、令和元年度から令和５年度までの５年間とし、市民が生涯にわたってスポーツを気軽に行える場を提供し、心身ともに健やかで充実した生活を営めるよう計画を推進することとしています。</p> <p>本計画の推進にあたっては、各施策の実施状況や達成状況、効果・課題について、点検・評価を行い、計画に反映させることとしているので、令和５年度における「成果指標」の結果と今後の推進の方向性について、ご報告いたします。</p> <p>資料の１ページをご覧ください。報告する内容につきましては、太枠で囲まれた部分であります。</p> <p>「基本目標Ⅰ：生涯スポーツの推進」の成果指標の結果であります。週１回以上スポーツ活動に親しむ市民割合は、平成２９年度の現状値に比べて４２．７％と上昇しておりますが、令和４年度と比べると１．５ポイント下回る結果となりました。</p> <p>年代別に見ると、６５歳以上はスポーツ実施率が５０％を超えていますが、２０～３０代は仕事や子育ての影響かスポーツ実施率が低く、今後の課題と言えます。</p> <p>今後の推進の方向性であります。スポーツ活動に親しむ市民割合の上昇を目指し、多くの市民がスポーツ活動に親しむことができるよう、市民ニーズを的確に把握し、関係機関と連携して魅力ある事業の提供に努めてまいります。</p> <p>資料の２ページをご覧ください。</p> <p>「基本目標Ⅱ：地域スポーツ活動の推進」の成果指標の結果であります。スポーツ機会が充足していると思う市民割合は７０．７％となっており、現状値を上回る結果となりました。</p> <p>これは、インターハイが新型コロナウイルス感染症による制限を受けない大会として開催されたほか、競泳日本代表チームの合宿が行われ市民との交流を行うなど、スポーツ活動がコロナ禍前の状況に戻りつつあったため、増加したものと考えられます。</p> <p>今後の推進の方向性であります。各団体の活性化のため、スポーツ協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等に対し、指導者育成の支援や情報提供等の取組を継続して行い、スポーツによる「健康都市えべつ」の実現を図ってまいります。</p> <p>次に「基本目標Ⅲ：スポーツ環境の整備・充実」の成果指標の結果であります。市内の屋内体育施設は建築から４０年以上経過したものが多くことから、老朽化対策として、安全に配慮した改修整備を進めており、スポーツ施設整備の満足度は６７．６％と現状値を上回る結果となりました。</p> <p>今後の推進の方向性であります。引き続き市内体育施設の改修整備を行い、安全で快適に利用できるスポーツ環境づくりを進めるとともに、指定管理者と連携して利用しやすい施設運営と適切な管理を行ってまいります。</p> <p>以上が報告書の概要であります。</p> <p>なお、本日、報告した内容につきましては、江別市公式ホームページにおいて公表いたします。</p> <p>以上です。</p>
黒川教育長	<p>ただいま報告のありました、令和５年度江別市スポーツ推進計画（第６期）推進状況報告書について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>（質疑なし）</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>（一同了承）</p>
表情報図書館長	<p>次に、報告事項（５）令和５年度江別市子どもの読書活動推進計画（第３期）推進状況報告書についての報告を求めます。</p> <p>表情報図書館長お願いします。</p> <p>報告事項（５）令和５年度 江別市子どもの読書活動推進計画（第３期）推進状況報告書について、ご説明いたします。</p> <p>第３期江別市子どもの読書活動推進計画は、計画期間を令和元年度から令和５年度までの５年間とし、子どもたちが自主的に読書活動を行うことができる環境の整備を推進するために策定いたしました。</p>

本計画の推進にあたっては、各施策の進捗状況について、点検・評価を行うこととしておりますので、令和5年度における成果指標の結果と次年度の推進の方向性についてご報告いたします。

資料の1ページをご覧ください。

報告する内容につきましては、太枠で囲まれた部分でございます。

基本目標1、家庭、地域、学校を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進であります。成果指標1「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり10分以上読書する子どもの割合」は、中学校3年生がわずかに目標に達しなかったものの前年度より大きく増加し、小学校6年生は目標を達成しました。これは、学校と図書館が連携し、子ども達にとって魅力的な蔵書の整備に努めるなど、学校における読書活動の推進が、読書意欲を高めることにつながったためと考えられます。

成果指標2「学校図書館における児童生徒一人当たりの年間図書貸出冊数」及び成果指標3「情報図書館における18歳以下の利用者一人当たりの年間図書貸出冊数」は、それぞれ現状値より貸出し数が減少し、目標には達しませんでした。いずれも、一定の読書量は見受けられるものの、数値が減少した結果としてスマートフォン等普及に伴う利用時間の増加が一因と考えられます。

成果指標4「情報図書館・保健センター・子育て支援センターが行う読み聞かせの回数」は、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類への移行を機に、読み聞かせの開催が増加し、コロナ禍期間である前年度以前の数値を超え、目標を上回りました。

成果指標5「満1歳未満の乳児とその保護者を対象とした「親と子の絵本事業」における、対象家庭への訪問割合は、高い水準で推移し、保護者とともに本に触れあう機会を提供することが出来ました。

次年度以降も、情報図書館、各学校、保健センター及び子育て支援センターでは読み聞かせなどを行い、本に触れる機会を提供していくとともに、「親と子の絵本事業」を継続し、乳幼児から保護者が子どもの読書活動について考える機会を提供していきます。第4期も、家庭、地域、学校等を通じて、子どもの読書活動を推進する取組みを進めていきます。

次に、資料の2ページをご覧ください。

基本目標2、子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備、であります。成果指標1「情報図書館における児童書の冊数」は目標を達成しました。これは、古い資料の整理を行う一方で、児童書を購入したことによるものです。

成果指標2「学校図書館図書標準を達成している学校の割合」は目標を達成しました。これは、学校図書館の蔵書率の低い学校から図書の整備をしたことによるものです。なお、図書標準を達成していない学校でも概ね90%台で推移しています。

成果指標3「学校司書（巡回）、支援司書による学校への対応回数」は目標を達成しました。これは、令和5年度に学校司書（巡回）を令和4年度以前の3名から1名増員した結果、学校への対応回数増えたことによるものです。

次年度以降も、子どもが調べたい時、読みたい時に必要な本を手にすることができるよう、情報図書館及び学校図書館の蔵書整備を引き続き進めてまいります。また、情報図書館と学校が連携して、学校図書館の環境整備を行っていくとともに、学校司書（巡回）と支援司書が、児童生徒の朝読書などの読書活動や調べ学習などの教育活動を支援する取組を継続して行ってまいります。

以上が報告書の概要であります。

本日報告した内容につきましては、江別市のホームページにて公表いたします。

以上です。

ただいま報告のありました、令和5年度江別市子どもの読書活動推進計画（第3期）推進状況報告書について、質問等がございましたらお受けします。

（質疑なし）

それでは、本報告について終了してよろしいですか。

（一同了承）

次に、報告事項（6）令和6年度第2回学校一斉公開アンケート集計結果についての報告を求めます。（はい、教育長）

鎌田教育政策担当主幹お願いします。

報告事項（6）令和6年度第2回学校一斉公開アンケート集計結果について、ご報告いた

黒川教育長

鎌田教育政策

<p>担当主幹</p>	<p>します。</p> <p>学校一斉公開は、地域に開かれた学校づくりの促進により、地域や保護者等に学校への理解を深めていただくとともに、学校と地域の連携協力体制の強化を図るため、平成14年度から年に2回実施してきたものでございます。</p> <p>6月の第1回に引き続き、10月16日水曜日に本年度2回目の学校一斉公開を開催し、無事終了いたしました。</p> <p>本日は、見学者からのアンケートの集計結果をご報告するものでございます。</p> <p>資料をご覧ください。まず、1ページ上段に記載しておりますが、今回の見学者は、市内の公立小中学校25校と、立命館慶祥中学校を合わせて、延べ1,568人であり、アンケートの回答者数は953人、回答率は61%でした。</p> <p>なお、今回の見学者数は、昨年10月の実施時より199人増加しております。</p> <p>次に、アンケートの集計結果のうち主なものについて、ご説明いたします。</p> <p>問1「この学校にご自分の家族はいますか。」について、「いる」と回答した人は全体で51%、小学校、中学校ともに、昨年10月の実施時よりも減少しております。保護者以外の地域の皆様の見学の割合が増加していることから、市民等への周知の成果が表れてきていると考えております。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>問4「学校一斉公開は、今後も必要と思いますか。」、問5「機会があれば今後も学校に来たいと思いますか。」について、「思う」と回答した人の割合が、小学校、中学校ともに、ほぼ100%となっており、学校への関心の高さがうかがえます。</p> <p>問6「学校は地域に開かれていると思いますか。」につきましても、「開かれていると思う」と答えた方の割合が9割以上と、高い結果となっております。</p> <p>3ページをご覧ください。</p> <p>問9の「児童・生徒の様子はいかがでしたか。」については、「大変よい」及び「よい」の割合が合わせて9割となっており、見学者の多くが、江別市の児童生徒に好印象を持ったことがうかがえます。</p> <p>4ページ及び5ページには、自由記載欄における見学者の感想等について、回答数と、主な感想等を掲載しております。児童・生徒関係では「元気に挨拶をしてくれて、うれしかった」、教職員関係では「特別支援学級の児童に寄り添った指導をしていて安心した」、施設・設備関係では「建物は古いが丁寧に使われている」、学校一斉公開関係では「他学年などの様子も見られて良い機会だと思った」といった感想がありました。</p> <p>また、校舎の老朽化の指摘、エアコンの設置など、市の教育行政全般に係る意見・要望等や、学校一斉公開の運営に係る意見等についても記載がありました。</p> <p>なお、別冊で、見学者の感想等を取りまとめたものを掲載しておりますので、ご参照ください。</p> <p>最後に、5ページ下段の「3 見学者の感想等を踏まえた今後の対応について」をご覧ください。</p> <p>総務課では、昨年度から、アンケート結果と併せて今後の対応をホームページで公表しております。</p> <p>まず、(1)の「市の教育行政全般に係る意見・要望」に対しては、各学校及び関係部署に伝達し、今後の市の教育行政に生かしていく旨、総括的に回答いたします。</p> <p>また、そのうち、要望の多い(2)の「学校施設・設備等」に関しては、「雨漏りの解消など建物の老朽化対策」、「トイレ洋式化など教育環境整備」、「暑さ対策のためのエアコン整備」などについて、計画的かつ優先的に進めていく旨、回答いたします。</p> <p>そのほか、(3)の「学校一斉公開の運営等に係る要望等」について、「校舎の案内図を配付してほしい」旨の声が複数あり、本事業の改善策として総務課が直ちに取るものであることから、各学校に対し、当日に紙配付している時間割と併せて、校舎案内図を配付、又は時間割の裏面に記載するよう改めて依頼する旨、回答いたします。</p> <p>以上です。</p>
<p>黒川教育長</p>	<p>ただいま報告のありました、令和6年度第2回学校一斉公開アンケート集計結果について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p>

星野青少年担当主幹	<p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(7) 令和7年江別市はたちのつどいの開催についての報告を求めます。星野青少年担当主幹をお願いします。</p> <p>報告事項(7) 令和7年江別市はたちのつどいの開催について、ご説明いたします。資料をご覧ください。</p> <p>1 日時ですが、来年1月12日、日曜日の14時から実施いたします。</p> <p>2 会場は、市民会館大ホールです。</p> <p>3 対象者は、平成16年4月2日から平成17年4月1日生まれの方で、今年度20歳になる方です。対象者数は男性675名、女性626名の計1,301名です。</p> <p>4 内容は、当日、市長および教育長が出席し、市長に式辞を述べていただきます。また、来賓として市議会議長、道議会議員も出席いただきます。実行委員によるはたちの抱負などの式典のほか、交歓会や記念撮影用のフォトスポットの設置を行う予定です。</p> <p>5 実施主体は、はたちのつどい実行委員会です。</p> <p>「はたちのつどい」は、コロナ禍の令和2年度から令和4年度は、混雑を避けるため、会場を分散したり2部制にしたりして対応してまいりましたが、令和5年度の本年1月開催から、従来通りに市民会館大ホールで一部制で開催し、はたちの皆さんが一堂に会するかたちで開催しております。</p>
黒川教育長	<p>以上です。</p> <p>ただいま報告のありました、令和7年江別市はたちのつどいの開催について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p>
星野青少年担当主幹	<p>(一同了承)</p> <p>次に、報告事項(8) 令和6年度小中学校国内交流研修事業についての報告を求めます。星野青少年担当主幹をお願いします。</p> <p>報告事項(8) 令和6年度小中学生国内交流研修事業について、ご報告いたします。資料1ページをご覧ください。</p> <p>今年度の事業につきまして、土佐市の小中学生の江別市での受入れを、令和7年1月21日から24日まで、3泊4日の日程で実施を予定しております。</p> <p>土佐市からの参加者は、小学5年生が9人、中学2年生が3人の計12人の小中学生に、先生等の引率者が4人となっております。</p> <p>なお、受入校は、記載の7校にお願いし、昨年度はホテル泊で行いましたが、今年度は当該校の児童生徒宅へのホームステイを5年ぶりに再開する予定です。</p> <p>主な事業内容としましては、ホームステイのほか、小中学校への体験入学、北海道の冬や江別らしさを体験する内容となっております。</p> <p>日程の詳細は現時点の予定として、2ページに記載のとおりです。</p> <p>なお、江別市の小中学生の土佐市への派遣を、本年10月22日から25日までの3泊4日の日程で実施しております。</p>
黒川教育長	<p>以上です。</p> <p>ただいま報告のありました、令和6年度小中学校国内交流研修事業について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p>
佐藤教育部長	<p>(一同了承)</p> <p>続いて、2の審議事項に入ります。</p> <p>審議事項(1) 令和6年議案第45号 令和7年度江別市一般会計教育予算要求案についての説明を求めます。</p> <p>佐藤教育部長をお願いします。</p> <p>令和6年 議案第45号 令和7年度 江別市一般会計教育予算要求案について、ご説明いたします。</p> <p>本議案は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育予算に関して、教育委員会のご意見をいただくものであります。</p> <p>はじめに、1令和7年度要求額であります、59億765万8千円であります。</p>

<p>黒川教育長</p>	<p>次に、2令和7年度教育予算要求案総括表であります、裏面の2ページをご覧ください。</p> <p>この表は、予算項目ごとに、令和6年度当初予算額と比較する形でまとめており、令和7年度予算要求額は、先ほども申し上げましたとおり、59億765万8千円、令和6年度の当初予算額合計、32億1,510万1千円と比較し、要求額ベースで、約26億9,255万7千円の増となっております。</p> <p>予算要求に当たりましては、各所管課において、前回の当委員会でご説明した要求方針、並びに、令和7年度予算編成方針で示されました、原則として、令和6年度当初予算における一般財源所要額と同額の範囲内という要求基準に沿うよう努めましたが、来年度においては、工事が本格化する普通教室等へのエアコン整備をはじめとした学校改修に係る経費、令和2年度に導入したタブレット端末の更新に要する経費に莫大な費用が見込まれ、総体で、83.7%の大幅な増額要求となったものであります。</p> <p>なお、こうした経費については、国等の財源を活用することを見込んでおり、中でも、エアコン整備を含めた学校改修は最も財源として有利な今年度の補正予算の採択に向け、現在、国との協議の準備を進めているところであります。</p> <p>市全体の財政事情が一段と厳しい中、財政部門において、現在、予算査定作業が進められているところであり、市全体の予算内示後に、改めてお諮りいたしたいと思っております。</p> <p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願ひいたします。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、令和6年議案第45号 令和7年度江別市一般会計教育予算要求案について承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p>
<p>鎌田教育政策担当主幹</p>	<p>次に、審議事項(2)令和6年議案第46号 令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書についての説明を求めます。(はい、教育長)</p> <p>鎌田教育政策担当主幹をお願いします。</p> <p>令和6年議案第46号 令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書についてご説明いたします。</p> <p>報告書の表紙の次のページ、「はじめに」をご覧ください。</p> <p>この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、令和5年度における教育委員会の事務の管理、執行状況に係る点検、評価を行い、その結果を取りまとめたものでございます。</p> <p>次に、1ページをご覧ください。</p> <p>第1章の「点検及び評価について」ですが、本報告書の作成にあたっての基本的事項について記載しております。</p> <p>点検及び評価の対象は、令和5年度に実施した事務事業等を対象としており、点検及び評価の手法と方針は、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、教育に関する事業を個別に評価し、今後の改善を図ろうとするものでございます。</p> <p>学識経験者等の知見の活用については、教育に関し学識経験を有する2名の方による外部評価を計3回実施し、ご意見等を伺いました。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>第2章の「教育委員会の活動状況に関する点検及び評価」についてですが、まず、教育委員会委員の氏名や会議の開催状況等を記載しており、3ページから11ページまで、会議の開催日及び件名を、12ページは、審議等の状況を記載しております。</p> <p>13ページ及び14ページは、条例・規則等の制定、計画等の策定状況を、15ページは、教育委員会委員の活動状況を、16ページ及び17ページは、教育委員会に設置されている審議会等の状況を記載しております。</p> <p>続いて18ページから、令和5年度予算の状況について記載しております。</p> <p>19ページをご覧ください。当市には、第6次総合計画に基づく9つの政策がありまして、教育委員会所管は、「政策06 子育て・教育」、20ページ中段からの「政策07 生涯学習・文化」、21ページ下段からの「政策08 協働」の3つが該当するものであります。この政策の下に位置付けられる、取組の基本方針ごとの主な事業の取組内容を記載し</p>

黒川教育長	<p>ております。</p> <p>22ページ及び23ページは、行政改革の取組について記載しております。</p> <p>続いて24ページから30ページまで、青少年文化賞、青少年スポーツ賞をはじめ、文化やスポーツの奨励賞、更には教育委員会賞を受賞された個人や団体を記載しております。</p> <p>31ページは、学校適正配置の取組について記載しております。</p> <p>続いて32ページ以降は、第3章「教育に関する事業の点検及び評価」についての記載でございます。</p> <p>点検及び評価は、総合計画に基づく事務事業を単位として行っておりますが、令和2年度から全ての事務事業を5か年で一巡するよう、外部評価を計画的に実施しているところ です。本年度は、「政策07 生涯学習・文化」の19事業を対象として実施しました。</p> <p>33ページは対象事業の一覧であり、これらの事業の概要について、34ページから71ページまでの事業ごとの事務事業評価表を使用して、所管課長等から学識経験者に説明し、ご意見をいただきました。</p> <p>いただいた当該意見については、72ページから74ページに掲載しております。</p> <p>報告書の説明は以上ですが、今後の予定といたしましては、本議案の審議において、これをご承認いただいた後、情報公開コーナー等で閲覧できるようにするほか、教育委員会のホームページに掲載するなど、広く市民に周知を図る予定です。</p> <p>なお、学識経験者からいただいたご意見につきましては、教育部内で共有し、より良い教育行政の執行及び行政サービスの提供につなげてまいりたいと考えております。</p> <p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願いたします。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、令和6年議案第46号 令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>続いて、3のその他に入ります。</p> <p>次回教育委員会予定案件及び日程について、説明を求めます。</p> <p>山崎総務課長お願いします。</p>
山崎総務課長	<p>次回の定例教育委員会の案件でございますが、報告事項として、教育財産の用途廃止及び移管について、令和7年江別市はたちのつどいの開催結果について、などを予定しております。</p>
黒川教育長	<p>また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、1月29日水曜日午後2時30分からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p> <p>ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は、1月29日水曜日午後2時30分からということで、皆様よろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>以上をもちまして、第12回定例教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>

終了 午後3時23分

署名人 (教育長) 黒川 淳 司

署 名 人 新 館 忠 義